〈資料〉

国立劇場蔵小川弥三郎旧蔵史料翻刻（抄）

Ogawa Yasaburo's Musical Notes Owned by the National Theatre of Japan (Extract Reprint)

前島　美保
MAESHIMA Miho

本稿は、国立劇場が所蔵する小川弥三郎旧蔵史料五十五点のうち、興行年月を比定することができた附を抜粋して翻刻するものである。本史料の概要および興行リストについては、拙稿「国立劇場蔵小川弥三郎旧蔵史料について」（『研究紀要』第五十七集）を参照願いたいが、「表2　国立劇場蔵小川弥三郎旧蔵史料詳細リスト（未定稿）」のうち、今回は明治十年代から二十年代にかけての人形浄瑠璃の囃子附、六公演分を翻刻する。翻刻した公演は以下の通り（カッコ内は登録番号）。

・明治十五年九月松嶋文楽座「絵本太閤記」「生写朝顔話」「大塔宮曦鎧」（8433-13）
・明治二十五年十月御霊文楽座「伽羅先代萩」（8433-55）
・明治二十六年三月御霊文楽座「菅原伝授手習鑑」（8433-55）
・明治二十六年四月御霊文楽座「妹背山婦女庭訓」（8433-55）
・明治二十七年六月稲荷座「仮名手本忠臣蔵」（8433-55）
・明治二十九年二月稲荷座「玉藻前旭袂」「幡随比翼塚」「妹背山婦女庭訓」（8433-13）

キーワード：近代、人形浄瑠璃、囃子、附、音楽演出

【凡例】

一、基本的に表記は史料に即して翻刻した。当て字や記号、表記のゆれ等も多いが、現物と照らし合わせられるよう、できる限りそのまま翻刻した。例外がいくつかある。例えば片仮名は仮名に直した。ただし特殊な用字はそのままとした（「ト〇」等）。また一部、通行の用字に直したところがある。
一、補足注記は（　）にて記した。
一、配置やレイアウトを変えた部分がある。
一、□は判読不可。［　］は実際には絵で示されていることを示す。
一、外題や配役、詞章等は、適宜、義太夫年表編纂会『義太夫年表　明治篇』（義太夫年表刊行会、一九五六年）、乙葉弘校注『浄瑠璃集』上（岩波書店、一九六〇年）、鶴見誠校注『浄瑠璃集』下（岩波書店、一九五九年）、祐田善雄校注『文楽浄瑠璃集』（岩波書店、一九六五年）、横山正校注・訳『浄瑠璃集』（小学館、一九七一年）、鳥越文蔵他校注・訳『浄瑠璃集』（小学館、二〇〇二年）、『国立劇場上演資料集』等を参照した。
一、なお、前稿表2では明治十年代の上演座を「御霊文楽座」としているが、正しくは「松嶋文楽座」。

本稿は、ＪＳＰＳ科研費２０Ｋ２０６７７の助成を受けたものである。

【翻刻】

■明治十五年九月松嶋文楽座

「絵本太閤記」

大序

一　安土城中の段

一　明ケ　〳〵下りは

一　まく　〳〵同

二段目

一　鉄扇の段

一　明ケ　〳〵下りは

一　中なごん出は入　〳〵がく

。は入とト○

一　信長のは入　〳〵上の舞

。は入とト○

村太夫

まくら

一　美□　〳〵しらべ

一　十治郎の出　〳〵上の舞

一　信長は入　〳〵同　〳〵中の舞

返し

千本通り光秀の内の段

弥太夫

一　上しの出　〳〵上の舞

一　。は入　〳〵同

一　木頭　〳〵時たいこ

返し

門そと

一　かごは入と木頭　〳〵早舞

返し

局［盃］あどげて見へ㊦

一　本能寺の段

一　あと　〳〵しらべ

一　信長は入　〳〵上の舞

氏太夫

まくら

一　早ふけわたる　〳〵本つり

一　しげみのうち　〳〵すゞめ

一　時しもあれ　〳〵とぜめ

一　局は入　〳〵打込

一　三味引　力丸の出　〳〵打込

とぜめ

一　らん丸は入　〳〵同

一　三味引　局の出　〳〵同

一　三味引　らん丸の出　〳〵同

一　あと　〳〵とぜめ

一　みな〳〵は入　〳〵とぜめ

一　。は入と　〳〵をやす

一　木頭　〳〵打込

返し　さらし

平そと

□丸出ると㊦　〳〵どんちやん

一　木頭　〳〵打込

返し　つかけ

信長見へト○

一　あと　〳〵とぜめ

ほら

一　らん丸見へ　〳〵どんちやん

あばれ

返し　〳〵打込

一　あと　〳〵とぜめ

一　てつぽうなると　〳〵早笛

返し　打込

一　かちどき　〳〵打込

返し　片しやぎり

一　まく　〳〵をやす

一　中国の段

一　明ケ　〳〵打込

とぜめ

一　三味引　となたなる　〳〵とひど

一　三味引　早打の出　〳〵打込

一　。は入　〳〵とぜめ

返し

一　秀吉じんやの段

一　口上　切

軍兵おどりあと

一　はなしのみゝを

おどろかす

時太夫

一　又ふるあめに　〳〵あめ

一　三人は入と　三味引　〳〵とぜめ

一　局の出　みやこより　〳〵打込

とぜめ

。しぬとト○

一　秀吉　これに　〳〵とぜめ

。くび切るとト○

弥太夫

まくら

一　むじよにうつる　〳〵時金

一　清水の出　〳〵とぜめ

一　秀吉しよじあけると　〳〵水音

一　清水押見する　〳〵大小

水音

めり安

一　時のこへ　〳〵早打込

一　秀吉物どもはやく　〳〵くつわ

〳〵打込

くつわ

一　まく　〳〵時たいこ

一　妙心寺の段　〳〵くつわ

一　明ケ　〳〵本つり

一　おりからとゝろく　〳〵本つり

一　人相の　むし

一　しらじふいん（白書院）　めり安

一　しよぞくと立上れば　〳〵くつわ

〳〵打込

くつわ

（二）

一　さぎ（杉）の森の段
一　あと　〽とぜめ
時太夫
一　三味引　早打の出
一　。は入　〽打込
　とぜめ
返し　〽同
住太夫　〽とぜめ
一　ゆくれの　〽本つり
一　こへもろともにりんの音　〽りん
一　大おとしあと　三味引　〽とぜめ
一　付つゝみ　〽つゞみ
一　きよれつの　〽とひろ
一　なる金の　〽本つり
　とひろ
　〽をくり
一　まく
一　うりけん上の段
一　明ケ　〽とぜめ
一　おいかけ　〽どんちゃん
　くつわ
一　まく　〽打込
一　十段目の段
村太夫　風音［鉛筆書］
一　明ケ　〽だいもく
一　口上切　〽同
一　秀吉の出　〽同
重太夫
一　あわれ　〽とぜめ
　吹おこる風がもてくる　ほら
一　十次郎は入　〽打込
　。は入とト○
一　あらわれいでたる　〽本つり
　光秀見へ　むし
　かいる
一　とりつくしまも　〽とぜめ
　三味引　おりしもきゝくる
一　十二郎出　おもてぐち
一　光秀　〽打込
一　くすりのます　〽とぜめ

大おとしあと
一　三味引　〽とぜめ
一　光秀　木のぼり　〽大小
　とぜめ
　めり安
一　。のぼると　〽とぜめ
　ほら
一　のきにならぶる　〽くつわ
一　まく　〽段ぎり
　片しやぎり
中狂言　あさがほ（生写朝顔話）
一　やどやの段　〽歌
一　明ケ　〽風音
返し
越路太夫
まくら
一　入相の　〽時金
一　［扇］うけとる　〽時へ
　おりしも時へ（時計）　七つ
一　おやじ　まあまちや　〽あめ
　〽同
　水音
　はこ□歌
返し
一　とめ木より　〽あめ
　水音
一　みな〳〵かわどめ〳〵　〽どん○
一　おやじ　おきゝ下され　〽しの入
一　あさがほ　くすりのむ　〽どろ〳〵
一　ゆせん　川へほりこむ　〽水音
一　とりのこへ　〽本つり
　からす
　しやぎり
一　まく
切狂言　大との宮（大塔宮曦鎧）
一　斎藤上使の段
染太夫

一　明ケ　〽早下りは
まくら
一　あきの日のあわれ　〽時金
一　みだいは入と　〽本つり
　ゑんじのせや　五つ
一　門前にくつわの音　〽くつわ
一　ほどなく入くる斎藤　〽上の舞
　。出るとト○
一　おとりにそへてそよ〳〵〳〵と
　三味をくりになると　〽をどり
　しやぎり
　子やくは入と斎藤見へト○
一　木頭　〽をどり
　しやぎり
返し
一　斎藤　くびきると　〽同
一　まく　〽
■明治二十五年十月御霊文楽座
「伽羅先代萩」
一　大序　吉原の段　〽風音
一　明ケ　〽同
返し
一　大門口の段　〽
一　まく　〽同
一　提伐の段
谷太夫
一　明ケ　〽水音
一　しがいためる　〽同
一　切ゆく高尾が　〽どろ〳〵
　もうしゅう
一　まく
一　門前の段
一　明ケ　〽時たいこ
一　立やい　〽どん〳〵
　めり安

（三）

返し
一　鶴ケ岡の段　〻かぐら
一　仲の井の出　〻
一　こりや　〻かぐら
返し
一　原田やしきの段　〻本つり
風音
口上
一　あと　〻しらべ
一　かい之助　〻つけつづみ
まつしま
呂太夫
一　浪かじ紋□とのふし□　〻どろ〳〵
一　まく　〻おくり
一　絹川堤の段
一　明ケ　〻水音
一　お辰は入　〻あめ
〻
大上なり
返し
てつぽうなるト㋣
一　土橋の段　〻あめ
綾太夫
一　口上あと　〻あめ　水音
一　お辰の出　〻あめ　風音
一　折からしきるいな光　〻あめ
一　三味相方　〻
一　みなこぼでた　〻本つり
一　三味相方　〻あめ
一　与右衛門の出　かぜ
一　高尾がしうしん　〻どろ〳〵

付まとう
一　三味相方　〻本つり
一　なおもも〻立　〻どろ〳〵
かさねこどし
一　立まわり　〻かさや
めり安
一　からむる折から　〻どろ〳〵
ねとり
〻大どろ
大あめ
一　まく　〻風音
一　埴生村の段
一　明ケ　〻どろ〳〵
津太夫
一　いうにぜひなく　〻どろ〳〵
とり上る
一　□ぶこが□□　〻どろ〳〵
権□くの
二人一間は入と
一　南どのうち　〻どろ〳〵
上人手をあわして
一　〻こおの□　〻どろ〳〵
一　まく　段ぎり
一　御殿の段
長尾太夫
竹のま
一　明ケ　〻上の舞
一　竹のまのふすま　〻同
おしひらき
一　かいて入れたるとりのかご　〻上の舞
一　みな〳〵は入
返し
越路太夫　〻
一　ちうとおしへる　〻すゞめ
一　花よめご〳〵　〻同
一　上し　栄井御前の出　〻上の舞
一　栄井　右大庄よりの御上し　〻同
有方く丁大あで（有難く頂戴あれ）迄

（四）
一　同　は入　〻上の舞
ゆう〳〵と館をさして
一　友によどこぶ（共に喜ぶ）　〻どん〳〵
その折から
一　木がしらせり上　〻天どろくずし
とめ木迄
一　あと　〻どろ〳〵
一　鉄之助　〻大どろ
ねづみのみけんわるト　どろ〳〵
一　しりけん（手裏剣）ほるト　〻大どろ
一　まく　しやぎり

■明治二十六年三月御霊文楽座
「菅原伝授手習鑑」
一　大序　大内御殿の段
一　明ケ　〻がく
みす上る
一　けいひつの　〻同
一　まく　〻がく
一　左府時平別業の段
一　明ケ　〻がく
〻
〻
一　まく　〻がく
一　加茂道綱横死の段　〻水音
一　明ケ　〻あめ
〻
一　まく　〻しらべ
一　筆法御伝授の段　〻がく
一　明ケ
返し
相生太夫

みす上る　〽がく
一　あけわたせば
みす下る　〽同
一　よおいせよ
天神出　〽同
一　御めずかい
かむりおちる
一　立入れたまへば　〽どろ〳〵
おちるとト○
一　かむりたゞして　〽がく
一　天神は入　〽がく
そでひどげると　下りは
は入とト○　じゆ
返し　〽時たいこ
一　築地のだん　〽時たいこ
返し
一　まく　〽水音
一　安居汐待の段　〽
一　明ケ　〽水音
返し
一　相丞名残　杖折檻の段　太夫
一　あと　〽しらべ
返し　一　ことばはずで
一　東天紅の段　返し
綾太夫　〽水音
一　兵へ（兵衛）ふへふく　一　相丞名残の段
一　同　こりや　〽つけ　津太夫
よびこふへ　一　やつこ　池には入
〽本つり　〽水音
風音　〽段ぎり
一　女のしがいほり込　〽水音　一　まく
一　にわとりながす　〽同　一　車のだん
兵へ　〽はたらき　一　明ケ
一　兵し万（拍子まん）が　にわとり　一　梅王桜丸の出
なおつてきた　一　同　は入
一　あと車の出　〽がく
浅ぎおち
一　松王丸の出　〽かぐら
一　まてどふ〳〵　〽かぐら
出るとト○　〽同
一　三人車のそばへよると　〽がく
一　車わでる（われる）と　〽
あと　〽つかけ
一　時平　ことば　〽あばれ
一　時平　にらむと　〽どろ〳〵
一　時平　ことば　〽がく
わらいト○　〽同
一　同　は入　〽どろ〳〵
一　三人見へ　〽がく
一　まく　〽がく
一　茶筅酒の段　〽かぐら
一　明ケ　〽風音
一　桜丸腹切　〽大小入
呂太夫　〽風音
一　まく
一　時平館の段
一　太夫

此太夫　〽がく
一　明ケ　〽がく
一　官平□王の出　じゆ
一　同　は入　〽同
一　まく　〽がく
一　筑紫配所の段
長尾太夫　〽水音
一　明ケ　〽一せい
口上　水音
一　あと　〽小つゞみ
一　あと　歌入　〽水音
一　歌入　あと　〽同
一　天神　外へでる
三味引
一　おりこそあり　〽どろ〳〵
あと
童子の出
一　かゝる折から　〽そらふへ
出るとト○
一　同　おどり　〽大小入
一　さらば〳〵と　〽どろ〳〵
二人の童子
一　みな〳〵　は入　〽山おろし
返し
一　天拝山の段　〽どろ〳〵
一　天神　梅のゑだで　〽あめ
くびきると　どろ〳〵
一　〽上なり
大どろ〳〵
あめ　同
一　天神　は入　〽同
一　あと　〽同
返し
中つり

（五）

一　上なり　〳〵大上なり
大どろ〳〵
あめ
一　天神　中つり　〳〵同
山のば　返し　〳〵同
一　あと　〳〵同
一　つなぎ　返し　〳〵同
てつぽ（鉄砲）なるとト○
四段目
一　寺子や
越路太夫
一　まく　しやぎり

■明治二十六年四月御霊文楽座
「妹背山婦女庭訓」
一　大序　大内御殿
一　明ケ　〳〵がく
一　かまたりの出　〳〵同
一　まく　〳〵同
一　春日小松原の段
一　明ケ
一　まく　〳〵風音
一　蘇我蝦夷子臣館の段　〳〵同
一　明ケ　〳〵ゆき
路太夫
一　かねのひゞき　〳〵たゝき金
一　ふりつもる　〳〵ゆき
一　ゆきみのしゆゑん　〳〵うち切り
どころかいなぁ　かね二つ
一　ふりしきる　〳〵ゆき
一　女でんばん上ほると　〳〵打込
とぜめ
一　丁く子（勅使）の入　〳〵がく
一　入鹿　おりると　〳〵がく
ゆき
返し　〳〵山おろし
一　三笠山の段
一　芝六三作の出　〳〵同
一　〃　は入　あと　〳〵どんかん
しかに［矢］立つとト○
一　あと　〳〵本つり
一　芝六　こりや　〳〵本つり
返し　風音
一　芝六忠義の段　二段目
さの太夫
万歳
一　芝六の　〳〵つけつゞみ
相生太夫
一　石こづめのけいざい　〳〵時金
一　奥山
呂太夫
一　早つきいだす　〳〵本つり
こうふくじいのあと三味　六つ
ツウンツツウチリ〳〵
ツウウテ一つ　心の□つう一つ
三つう一つ　四つう一つ
むくいヲン・小しらのかねのあと三味
ツウツツウチリ〳〵　ツウて二つ
（見消チ）
山の段
釜たり（鎌足）
一　かゞみうつすと　〳〵どろ〳〵
一　まく　〳〵段ぎり
一　花渡しの段
さの太夫
一　明ケ　〳〵上の舞
一　入鹿の出　〳〵がく
二人は入あと　〳〵打込
一　三味の引　〳〵打込
早打の出
〃出るとト○
一　あと　〳〵とぜめ
一　入鹿　このうま引け　〳〵くつわ
一　〃　は入　〳〵打込
くつわ

（六）
返し　〳〵水音
浅ぎにつなき水音
三段目
一　山の段
かけ分
一　浅ぎおち　〳〵水音
一　ひなどり　かみほると　〳〵
一　さくらながす　〳〵水音
一　まく　〳〵水音
一　杉酒屋の段
高尾太夫
津太夫
一　明ケ　〳〵風音
一　みな〳〵おどり　〳〵大たいこ
〳〵とふりかぐら
返し　つなぎ同
かけ分
一　道行の段　〳〵通りかぐら
一　どうの出　〳〵すり金
一　。をどり　竹
一　。は入　〳〵通りかぐら
浅ぎおち
一　三人　おどり　〳〵すり金
たいこ
一　なるかねの　そらふへ
〳〵本つり
〳〵かぐら
一　まく
四段目
一　鱶七上使の段
長尾太夫
一　明ケ　〳〵下りは
水やつこは入　あと
一　あれをきかあで　〳〵がく
一　入鹿の出　〳〵同

一　同　ことば　〽同
一　同　ことば　〽同
一　同　は入　〽がく
一　鱶七　毒かけると　〽どろ〳〵
一　入鹿大臣玉殿の段
越路太夫
一　立花姫　たんかいさま　〽がく
一　おみわ　だんばしい　〽がく
　定かけると　じゆ
　めり安
　女みな〳〵出るとト○
おみわつかれてから
一　おくはゆ高（豊）の御がく　〽がく
　鱶七てすりのそばによるとト○
一　とりての出　〽とぜめ
　〽打込
一　まく
一　入鹿退治の段
一　明ケ　〽がく
一　くもいのそで　〽同
一　おりからふきだす　〽つけ
　のふかん
一　時しもきこへる　〽とぜめ
一　かまたり　かゞみ　〽どろ〳〵
　うつすと
一　同　くび切と　〽大どろ
一　まく

■明治二十七年六月稲荷座
「仮名手本忠臣蔵」
一　大序　鶴ケ岡の段　〽かぐら
一　明ケ　〽上の舞
かぶとあらため
一　みな〳〵は入　〽がく
　下りは
一　みな〳〵の出　〽同
　かんぎよ
　〃は入とト○

一　〆い　〽かぐら
一　まく
一　桃井やしきの段　二段目
角太夫
一　明ケ　〽大小
　めり安
一　上し　力弥の出　〽上の舞
一　〃　は入　〽同
　返し　〽しらべ
　此太夫
　伊達太夫
若狭之介物語り
一　かたつてきかさん　〽めり安
　返し　〽時たいこ
一　大下馬先の段
谷路太夫
一　師直の出
　おゝい〳〵　〽時たいこ
長子太夫
一　判官は入　〽つけたいこ
　あと歌入　〽同
一　歌入　〽上の舞
　返し
一　殿中の段　三段目
源太夫
若狭之介の出　〽早舞
一　口上あと
　〃立てびよぶ（屏風）に
　かくれるとト○
師直の出　〽上の舞
一　あと　〽早舞
一　〃出ると
　〃おじぎするとト○
一　あと　〽上の舞
一　若狭之介　は入　〽下りは
一　あと　〽上の舞
一　判官の出　〽同

一　師直おそい〳〵　〽おやす
一　あと　〽上の舞
一　師直殿中じやわい　〽おやす
　［扇］面にあてる見へ
一　あと　〽上の舞
　わらひト○
一　判官　本庄（性）なればこうする　〽早舞
　師直の面わると　どん〳〵
　返し　同
一　裏門の段
組栄太夫
一　あと　〽どん〳〵
伴内の出
一　三味引　〽同
一　立ちまわり　〽同
一　も早あけ方　〽本つり
　からす
　返し　〽時たいこ
四段目　判官やしき
一　花籠の段
春子太夫
一　扇谷の段
越太夫
　返し　〽風音
一　城明渡しの段
菅太夫
みな〳〵の出　〽どん〳〵
一　あと
　由良之介出るとト○
一　由良之介　〽本つり
　ゆきやれ　めり安
　にわとり
　〽
　おくり　〽本つり
一　まく

（七）

二つ玉　五つ目
一　山崎街道の段
組の太夫
一　明ケ　〽山おろし
一　勘平と弥五郎の出　〽あめ
出るとト○
一　〃は入　〽同
一　浅ぎおち　〽山おろし
返し
一　山の段
新朝太夫
定九郎の出
一　あと　〽あめ
一　あと　風音
あと　〽あめ
一　与一兵衛の出　〽同
〃しばのそばへよるとト○
一　早かわり　〽風音
一　早かわり　〽同
一　与一兵衛　御きゝなさ　〽本つり
れて下さりませ　むしふへ
こきう
〃おなさけないト○
一　しだいにふける　〽風音
雨あらし
一　あと　〽
一　早かわり　〽風音
一　早かわり　〽同
一　おしどより　〽早ふへ
てつぽうあたるとト○
一　あと　〽風音
一　あと　勘平の出　〽本つり
むしふへ
一　あと　もんく切れ　〽本つり
〃見へ　風音
むしふへ
めり安

一　木頭
返し
一　勘平住家の段　六つ目
口上
一　あと　〽ざいご歌た
生嶋太夫
でるとト○
一一文字やの出　〽東山の歌
〃でるとト○
弥太夫
一　勘平　はらきつて　〽しの入
まず〳〵　めり安
きいてたべト○
一　〃金はによぼううつた金　〽同
一　〃　おき上る　同
一　あと　〽どろ〳〵
〽本つり
風音
一　木頭　〽さわぎ歌
返し
一一力茶屋の段　七つ目
かけ分
一　あと　〽おどり
一　亭主は入　〽早おどり
一　あと　〽おどり
一　九太夫　しからば　〽実は心に歌
こふおいで
一　あと　〽おどり
面かぶり士三人
一　これにて相まち　〽すり金
ま庄（しょう）　たいこ
めり安
返し　同
由良之介つかまへるとト○
一　あと　〽おどり
士三人は入
一　あと　〽おどり
平右衛門紙ひろうと

（八）

一　平右衛門〳〵　〽早おどり
力弥
一　つばおとさすと　〽早おどり
一　あと　〽おどり
一　伴内の舞　〽
一　木頭　〽大たいこ
めり安
返し　〽早おどり
一　由良之介　〽おどり
九太はいなれたそふな　〽ちゝよ母よ歌
一　〃　〽よにも歌
うれしそふな面ほわいな　〽おどり
一　〃　は入　あと　〽早おどり
一　平右衛門　切かけると　〽
一　まく　〽山おろし
一　道行の段　八つ目　〽同
かけ分　〽同
一　明ケ　〽大兵子
一　浅ぎおち　〽すり金
一　あと　たいこ
一　ぎよれつ（行列）　〽山おろし
もんくあと　〽同
一　二人　踊り　〽ゆき
一　あと
一　二人　は入
返し
九つ目
一　山科隠家の段
柳適太夫
由良之介の出
一　みな〳〵　〽ゆき
一　みな〳〵は入　〽同
大隅太夫

本蔵の出
一　□やい　　〳〵しやく八
　　ごむよふト○
一　又ふきいだす　　〳〵同
　　ごむよふト○
一　由良之介　　〳〵同
　　しやく八ふく
一　まく　　〳〵ゆき
十段目
一　天川やの段
尾上太夫
此太夫
一　明ケ　　〳〵風音
　　返し
一　敵討の段　　〳〵ゆき
勇太夫
一　あと　　〳〵同
　　返し
一　あと　　〳〵同
　　〳〵どん〳〵
　　きぬた
　　めり安
　　〳〵
　　〳〵どろ〳〵
　　〳〵
　　おい出し
　　はて

■明治二十九年二月稲荷座
「玉藻前旭袂」
大序
一　天竺沙牟呂山の段
一　明ケ　　〳〵山おろし
一　あと　　〳〵池ころし
一　三味引　　〳〵風どろ
　　きれ□□あがるとト○
一　長者は入　　〳〵山おろし
　　返し　　〳〵風音

一　麓の段
源子太夫
□
一　三味引　　〳〵風どろ
　　きれ女とかわるとト○
一　長者刀ぬくと　　〳〵どろ〳〵
　　女きゑるとト○
一　まく　　〳〵風音
序切
一　班足王館蘭亭宮の段
栄太夫
一　明ケ　　〳〵がく
　　どら
一　才木せりふあと　　〳〵がく
組の太夫
一　大王の出　　〳〵がく
　　どら
　　。上へ入とト○　　〳〵
一　長者の出　　〳〵とぜめ
一　三味引　　〳〵がく
一　みな〳〵は入　　どら
　　返し　　〳〵をやす
登茂太夫
才木女一人
一　めい〳〵天の多どのに　　〳〵がく
小しゝの出
一　花陽ゆみ引かけると　　〳〵どろ〳〵
　　むこふより　　早笛
　　。は入るとト○
しゝの出
一　大王見へ　　〳〵どろ〳〵
　　つかけ
一　立まわり見へ　　〳〵早ぜん
　　めり安
一　おつては入　　〳〵どろ〳〵
　　早笛
　　返し　　〳〵をやす

一　あと　　返し
大しゝ
一　見へ　　〳〵どろ〳〵
一　見へ　　〳〵きぬた
　　大小
　　めり安
　　〳〵からこ
　　竹ふへ
一　大しゝわれる　　〳〵大どろ
　　花陽出るとト○
一　長者刀ぬくと　　〳〵どろ〳〵
一　きつねとかわると　　〳〵がゝく
　　早笛
　　大どろ
　　。は入とト○　　〳〵がく
　　じゆ
　　どら
一　まく
是より唐土
一　だつきの入内の段
隅栄太夫
一　明ケ　　〳〵風音
一　三味引　　〳〵うすどろ〳〵
頭中つり
一　きつねの出　　〳〵どろ〳〵
　　がゞく
　　早笛
一　あと　　〳〵がく
一　みな〳〵は入　　〳〵風音
一　木頭　　〳〵水音
　　返し
一　太公望漁りの段
伊達太夫
一　あと　　〳〵水音
　　池ころし
一　は入　　〳〵同

（九）

返し
二段目
一　紂王御殿の段
弥生太夫
品太夫
中王だつきの出
一　早かんぎよ
。上へ入とト○
一　火ばしらの出
一　梅白火ばしら□く
中王だつき
一　は入
返し
此太夫
まくら切
一　らいしんの出
。出るとト○
一　早や
らいしんは入とト○
だつきの出
一　いづるだつきが
。出るとト○
一　中王の出
。出るとト○
中王だつきは入
一　よるのとぎ
。は入とト○
みな／＼は入あと
一　三味引
一　中しんの出
一　あと
一　。は入

〳〵がく
〳〵りふじん
がく
〳〵がゞく
〳〵をやす
〳〵りふじん
がく
〳〵をやす
〳〵一せい
あめ
〳〵本つり
あめ
〳〵がく
〳〵がく
〳〵りふじん
がく
〳〵とぜめ
〳〵打込
〳〵とぜめ
〳〵打込

一　あと
太公望
一　てつぽうつと
一　あと
一　中王打とつたり
一　あと
みな／＼
一　は入　あと
おつて
一　は入
一　あと
一　見へ
らいしん
一　は入
一　せり上　木頭
返し
とめ木ト○
一　ろふ門の段
一　太夫
一　あと
一　［矢］とんでくる
すつくと立たるいんのだつき
一　あと
太公望
一　かゞみうつす
中つり
一　きつねとかわると
一　まく
是より日本
一　北野社の段
一　明ケ
一　かごの出
亀菊
一　は入

〳〵とぜめ
〳〵せめ打込
〳〵とぜめ
〳〵早打込
〳〵とぜめ
〳〵どんちやん
〳〵をやす
打込
〳〵とぜめ
〳〵どんちやん
大小
めり安
〳〵打込
〳〵天どろくずし
〳〵とぜめ
〳〵どんちやん
〳〵とぜめ
〳〵うすどろ／＼
〳〵大どろ
がゞく
早笛
〳〵をやす
〳〵かぐら
〳〵同
〳〵同

（十）
。は入とト○
一　金藤治の出
うねめ出るとト○
一　うねめは入
一　十二人の出は入
長子太夫
一　金藤治きつとめをつけ
一　つばさは石めん入る
。おちるとト○
一　金藤治は入
一　かごや入と　早や
一　安成の出　ひとしきり
。出るとト○
一　亀菊は入と
早くれすぎて
一　わしごかゞ
だまわり
一　三人見へ
一　金藤治　岩を切ると
返し
一　柊野隠れ家の段　早かわりば
ひな太夫
一　こなたはたちまち
一　女きへる
かわるとト○
一　女すがたあらわす
かわるとト○
一　大ぼうずの出
返し
そでの出
一　ひら／＼と
そで
一　きつねとかわる
一　あと

〳〵同
〳〵同
〳〵同
〳〵とひろ
〳〵どろ／＼
〳〵かぐら
〳〵本つり
〳〵あめ
〳〵本つり
〳〵本つり
むし
〳〵本つり
むし
風音
〳〵大どろ
〳〵風音
〳〵うすどろ／＼
〳〵どろ／＼
〳〵
〳〵どろ／＼
〳〵風音
〳〵うす風どろ
〳〵どろ／＼
〳〵うすどろ／＼

一　きつね　女とかわる
　　。かわるとト○　〽どろ〳〵　此太夫
一　女　池にかほうつす　〽水音　弥太夫
一　。きつねとかわる　〽どろ〳〵　長子太夫
一　あと　〽うすどろ〳〵　一　そのおりしも
一　きつねひめとかわる　〽どろ〳〵　一　まく
　　。かわるとト○
一　ひめ池にかほうつす　〽水音　切「妹背山婦女庭訓」
　　。　。　一　花渡しの段
一　同　中つり　〽うすどろ〳〵　源太夫
一　まく　〽大どろ　三段目
一　道行宇治の川辺の段　一　山の段
一　明ケ　〽風音　背山　弥太夫　春子太夫
一　浅ぎおち　〽同　妹山　大隅太夫　伊達太夫
一　ふけゆくそら　〽本つり　三味　團平
　　〽風音　一　浅ぎつなぎ
　　どろ　口上切
返し　一　浅ぎおち　〽水音
一　道春館の段　一　あと　〽水音
角太夫　春子太夫　〽同
一　明ケ　まくら
返し　〽がく　一　宮古（都）のはじめにて
大隅太夫　〽しらべ　ひなどり　〽うぐいす
まくら　一　かみながす　〽水音
一　むじよふつぐる　定か大半治　花道
一　金藤治の出　一　せりふ　〽小玉
　　ほどもあらせず　〽時金　。。。。。
　　。入るとト○　〽上の舞　一　大半治花ながす　〽水音
一　。上しのおもむき　一　定か　花ながす　〽同
一　丁くし（勅使）の出　〽同　琴　〽一せい
　　。出るとト○　〽がく　一　まく　水音
一　幕　〽をやす
　　しやぎり
中「幡随比翼塚」
一　長兵衛住家の段
一　明ケ　〽風音
弥生太夫